

<電氣的肺静脈隔離術を受ける患者さんへ>

- ・手術日： 月 日
- ・手術時間：午前・午後 件目
- ・手術場所：本館1階血管撮影室

様

注意：緊急の患者さんの検査治療の為、
順番が遅くなる事があります。

【治療前日】

- ①準備する物：飲料水（500mlのお茶かお水のペットボトル）、先曲がりストロー1本、T字帯
- ②両方の足の付け根から膝上までの除毛を行います。その後のシャワー浴は出来ます。
- ③担当医より治療の説明があります。ご理解をした上で、同意書に署名をしてください。その後、看護師へ渡して下さい。
- ④心電図モニターを装着します。お薬の管理方法は看護師にお尋ねください。
- ⑤前夜はゆっくり睡眠をとる事が大切です。眠れない時は、睡眠薬を使用できます。

【治療当日】

（治療前）

- ①（朝・昼）食は、遅食となります。
- ②（病室・検査室）で治療前に尿道カテーテルを挿入します。検査着とT字帯に着替えます。足の脈に印をつけます。
- ③時計・眼鏡・指輪・入れ歯・その他の装飾品（ウィッグ・マニキュア）を外して、紛失しないようにしてください。家族が不在の場合は、看護師がセーフティボックスの鍵を預かります。（ジェルネイルは火傷や爪を傷つけるおそれがありますのでご了承ください）
- ④（右・左）の腕から点滴をします。造影剤を体の中から流すためと、緊急時に直ぐに処置ができるようにするためです。9時から治療の場合は検査室で点滴を始めます。
- ⑤検査室へは、車椅子に乗っていきます。

（治療中）

- ①治療中は少し眠くなるような安定剤の注射をしてから始めます。
- ②途中、痛みや気分が悪くなった時は、医師や看護師へお知らせ下さい。

（治療後）

- ①検査室からベッドに乗ってお部屋に戻り、心電図モニターをつけます。
- ②止血のため、足の付け根をテープで圧迫固定します。帰室後8時間は絶対安静となります。その間は穿刺した側の足を曲げたり、体を横にする事はできません。
- ③帰室後より飲水は可能です。お食事は帰室1時間後、状態観察してからお持ちします。安静中は寝たまま食べられるようにお手伝いします。
- ④止血中は絶対安静ですので、穿刺部位の疼痛や腰痛が強くなるようでしたら、我慢せずにナースコールでお知らせ下さい。痛み止めの薬を使用できます。また、確実な固定をする為に治療した側の足が曲がらないように紐で縛る場合があります。
*この処置は緊急時以外、患者さん又はご家族に身体抑制の同意を得てから行います。
- ⑤午前治療の場合は帰室8時間後、午後治療の場合は翌朝、止血の確認を行い、医師が圧迫固定を外して消毒を行います。その際点滴が終了していれば点滴の針を抜き、尿道カテーテルを抜いてパジャマに着替えます。

【治療翌日～退院日】

- ①傷口を消毒します。退院して1,2日は傷口を強く擦らないようにしてください。テープは夕方には剥がすことができます。シャワーは可能ですが、入浴は1,2日避けてください。足が腫れるなど、異常を感じたら早めに受診をしてください。

不明な点は、担当医師または看護師へいつでもお尋ね下さい。